

令和7年度4月号 [4月15日(発行)]



# 東風だより

川口市立東中学校  
川口市東本郷2-20-47番地  
TEL 048-281-4065  
特別支援学級 285-2423  
さわやか相談室 281-4627  
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

## よりよい関係

校長 柳田 勇

本年度の始業式・入学式は、満開の桜の中で迎えることができました。保護者の皆様、改めまして、お子様の御入学・御進級おめでとうございます。

本年度も、校訓「賢く・優しく・逞しく・美しく」

学校教育目標「よく考える生徒・心豊かな生徒・  
心身ともに逞しい生徒・勤労奉仕の心をもつ生徒」

の育成を目指し、教育活動を行って参ります。今後とも、御理解・御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

校長3年目(教頭時代を含めると4年目)となりました、柳田 勇(やなぎだ いさむ)でございます。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

東中学校として、今年度、生徒には「聞いて実践」することを心掛けてもらいたいと思います。これは、授業中のみならず、日常生活においても意識してもらいたいと思っております。

昨年度の「聞く」のときにも申し上げましたが、人の話を「理解して聞く」には、自分の心の持ちようが大切です。話を「聞く」本人が、何か困っている・気になることがある状態では、人の話を聞く余裕などなく、結果として「聞いているふり」になってしまいます。皆さんも御家庭等で「聞いているの?」とお子様に尋ねられたことがあると思います。

何か困りごとがあるとき、自分で解決できるときもあれば、誰かの力を借りないと解決できないときもあります。私たち大人は、生徒から安心して悩み事を相談できる相手でなくてはなりません。そのために、私たち自身も心にゆとりを持ち、生徒が話せる環境を提供しなくてはなりません。大人の姿は生徒へ自然と伝わってしまうものです。生徒には、常に心が穏やかな状況でいてもらいたいと思います。なぜなら、人の話を聞けないと、様々な成果を上げることはできないと考えるからです。ところで、お子様の「言う」はいかかでしょうか。言葉は自分が考えて発している内容と、受け取る側では内容に違いが生じることがあります。また、言っている側は何気なく発した言葉でも、言われた側はいつまでも覚えているものです。生徒には自分の発言に責任を持つと同時に、相手に敬意を持つことの大切さを伝えていきたいと思っております。これは誰に対してもです。

人の成長や大人になることは、よりよい人間関係を築いていくこと、築こうと努力することなのかもしれません。学年が上がった生徒たちには、自分自身の成長はもとより、自分に係る多くの人との関係を大切にできる人になってもらいたいと思っております。御家庭・地域でもこのことを意識していただき、御協力願えればと思っております。